

新技術・情報名	乳用種去勢牛肥育への豆蘆粕サイレーズの利用		
実施場所	三重県農業技術センター	分類	③

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

6か月齢の乳用種去勢牛を、豆蘆粕サイレーズ(豆蘆粕と一般ふすまを現物重量比4:1で混合しサイレーズ化したもの)とコーンサイレーズを主原料としたコンプリートフィードの自由採食で肥育したところ以下の結果が得られた。

(1)混合飼料の乾物当たりTDNを79%としたところ(当初の設定は80)20か月齢で生体重700kg強となった。その間のD.G.は1.1kgであった。

(2)肥育期間中の飼料乾物摂取量は約3,700kg(配合飼料に換算した4,230kg)で、飼料費は129,000円とかなり低くおさえることができた。

(3)肥育中の仕上がり状態は、肉付きがやや不足がち(肥育前期のTDNを76%としたものではこの傾向が特に顕著であった)であったことから、実際の活用時には肥育開始時より乾物当たりのTDNを82%程度にまで上げる必要があると思われる。

2) 技術・情報の適用効果

現在では無償で入手できる豆蘆粕の利用で、混合飼料を低コストで製造することができ、飼料費の低減ができる。

3) 適用範囲

乳用種去勢牛肥育経営

4) 普及指導上の留意点

混合飼料の自由採食で水分も一般配合飼料より高いことから混合飼料の変質に注意が必要である。

自給飼料(サイレーズ)の水分変動によるTDNの変化に注意が必要である。

豆蘆粕サイレーズの利用により糞は軟らかくなる。

(畜産部 肉牛研究室 加藤元信)

2. 具体的データ

増体成績

(kg)

試験	前、後期 栄養水準	開始時 体重	一日当たり増体量			終了時 体重
			0~24	24~60	通算	
第1回	TDN 76~79	244.3	1.14	1.03	1.07	701.0
第2回	TDN 79~79	254.7	1.18	1.05	1.10	716.5

配合内容

(%)

栄養水準	豆蘆粕	コーン	稲わら	皮付圧	圧片	ゲル	専管	Ca	食塩
	サイレーズ	サイレーズ		片大麦	コーン	テン	ふすま		
TDN 76	30	30	7	10	10	13	-	0.5	0.5
TDN 79	33	20	6.5	13.5	20	-	7	0.5	0.5

飼料摂取量(一日当たり)

(kg)

試験(週)	0~12	12~24	24~36	36~48	48~60	0~24	24~60	0~60
第1回 DM	7.19	8.44	8.88	9.49	10.08	7.82	9.49	8.82
TDN	5.44	6.40	6.99	7.52	7.96	5.92	7.49	6.86
第2回 DM	7.05	8.62	9.36	9.48	9.37	7.88	9.40	8.77
TDN	5.60	6.86	7.43	7.53	7.43	6.23	7.46	6.97

豆蘆粕サイレーズの消化率と栄養価

	OM	CP	EE	Cf	NFE	Ash	TDN	DCP
一般成分	35.50	9.02	4.50	4.76	17.22	1.89	-	-
消化率	66.73	78.15	93.30	27.50	64.51	-	28.91	7.05

注: 乾乳牛4頭を用いた成績

3. その他

研究課題名: 粗飼料多給による肉用牛肥育技術の確立

---コンプリートフード利用による乳用種去勢牛肥育試験

期間: 62~63

予算区分: 果単